

【報告】本庁舎等建設基本構想の策定とパブリックコメント概要について

基本的な考え方をまとめました

市は6月1日からの1カ月間、「本庁舎等建設基本構想（案）」に対するパブリックコメント（意見・提言の募集）を実施しました。また、これらの意見などを踏まえ、「安曇野市本庁舎等基本構想」をこのほど策定しました。

パブリックコメント ご意見ありがとうございました。

パブリックコメントでは、42人の皆さんから「本庁舎建設基本構想（案）」へのご意見、ご提言をいただきました。今月号は、これらの意見の概略を6つに分類し、その中から特に多かったもの（回答内容の趣旨が近かったもの）を紹介します。全内容は、市役所総務課、各総合支所地域支援課、市民活動センター「くるりん広場」、市ホームページ（<http://www.city.azumino.nagano.jp>）でご覧いただけます。

本庁舎等の機能規模についての意見

意見（要旨）

化石燃料の枯渇は時間の問題である。地球温暖化とともに深刻に受け止めなければならぬ。本庁舎に必要な機能として「太陽や風力など、新エネルギーの採用について検討し整備を行います」とあるが、積極的な姿勢が臨まれる。最初から設計計画に入れてほしい。観光の目玉にもなると思う。

市の回答

太陽光発電などの自然エネルギーは、災害時にも電力を確保

できるものであり、可能な限り導入すべきものであると考えます。売電など自主財源の枠を広げる有効な手段でもあります。

今後策定する建設基本計画や建設基本設計の段階で、どの自然エネルギーをどのように活用するのか、具体的な研究をする中で明確に位置づけていきたいと考えています。構想案の表記を「：新エネルギーの採用を積極的に検討し整備を行います」に修正します。

候補地についての意見

意見（要旨）

本庁舎建設基本構想を見る時、多くの懸念を禁じえない。

ンボルとしての要素を加えた建築物にしたらいかがか。安曇野の宝である農地を3万平方メートルつぶし、生産性があがらない建物を建てることは極力避けて、熟考して慎重であるべきである。長野県は全国47都道府県の中でも負債の多さは大阪に次ぐといわれている。現庁舎を利用することは県の負担も軽減し、市の投資も半減することになる。

市の回答

公募市民が参画した本庁舎等建設審議会では、まず既存の本庁舎および総合支所の敷地の活用の可能性について検証しました。構想案では、安曇野の景観を考え、ある程度低層の本庁舎を建設する場合、必要となる敷

(表1)パブリックコメントの実施状況

項目	件数等
ご意見・ご提言をいただいた人数	42人
ご意見・ご提言の件数	66件
(内訳)	
・機能、規模に関すること	5件
・建設候補地に関すること	16件
・附随施設に関すること	2件
・総合支所に関すること	3件
・既存施設の活用に関すること	4件
・必要性に関すること	36件

地面積は2万平方メートルから4万平方メートルと想定していますが、いずれも市有地だけで2万平方メートル確保することはできません。確保するためには、数十軒単位で住宅や企業に移転をお願いする必要があります。移転補償については営業補償も含め多額の費用を要するほか、話し合いなどに相当の期間を要することが予想されます。本庁舎建設については、合併特例債を活用すれば返済額の70%が国から支援されるという有利なものですが、平成27年度末までに新庁舎を稼働させることが条件となるため、移転補償には金銭的にも期間的にも大変厳しい状況にあります。このような状況を踏まえ、建設候補地を選定したところ構想案に示す3カ所に絞られた経過があります。

これらの経過がわかるよう、既存の市有地の検討結果を基本構想に追記します。

附随施設についての意見

意見（要旨）

本庁舎建設はもう決定されていて、場所の選定の段階に入っているようだ。建設にあたっては、余分な大ホールなどは造らず、お金をあまりかけないで造ってほしい。税金も落ち込んでいる現在、「みらい」という中央図書館もホールを備えていて立派なものができている。あちこちに建設して市財政を圧迫してはならないと思う。

市の回答

市民アンケートで、市役所の中または市役所に隣接してあつたら良いと思う施設を訪ねたところ、「コンサートや多様なイベントができる市民ホール」は、「防災センター」、「子育て支援、健康福祉施設」に次いで3番目に多い回答がありました。ご意見のとおりホールは穂高交流学習センター内のほか、市内各所に存在します。しかし、コンサートなどが開催できる「劇場型」のホールは、市内に1カ所（豊科公民館）だけです。豊科公民館は老朽化が著しいほか、千人規模のイベントができません。

さらに慎重に計画を再検討していただきたい。市が将来発展していくに従い、他の都道府県や県内の他地域との交流が盛んになってくることを予測しなければならぬ。すなわち、市民の来庁都合のほかにも、JRの駅に近くて高速道路のインターからアクセスを考えることも必須条件である。先を踏まえ、現庁舎を軸として周辺住民に協力をお願いし、敷地を拡張して拠点を置くことが最善と思う。移転をお願いする方々の転居先を想定すると、旧豊科町役場が不要になるだろうから、その跡地利用をするよう努力したらどうか。庁舎の不足スペースは現建築物に隣接して建築し、市のシ

このような劇場型のホールについては「10万人都市として芸術文化となる拠点が必要である」というご意見がある一方、「近隣市に大きなホールがあるので、多額の経費を必要とするホールは不要である」というご意見もいただいています。市民ニーズや将来の財政負担などを踏まえつつ、本庁舎建設とは別に検討していく必要があると考えています。

総合支所についての意見

意見（要旨）

総合支所は廃止しないのとことである。市民の利用頻度が高い機能はぜひとも本庁への統合は避けて欲しい。

市の回答

総合支所を縮小・廃止・統合をすることによって、大きな経費削減をすべきであるというご意見がある一方、地域審議会をはじめ総合支所の維持を希望する市民の声もあります。本庁舎を建設した地域の支所機能を本